

コーディング規約 / 04_HTML

- HTML
 - 基本
 - 記述ルール
 - - インデント
 - - コメントアウト
 - HEAD要素内
 - - 文字コード
 - - IEレンダリングモード
 - - ビューポート
 - - キャッシュの有効期限
 - - 電話番号リンク
 - - ページタイトル
 - - ページディスクリプション
 - - OGP
 - - ファビコン
 - - CSS
 - - 検索エンジンロボットの制御（meta robots）
 - BODY要素内
 - - <main>タグ
 - - <aside>タグ
 - - <section>タグ
 - - <article>タグ
 - - <h>タグ
 - - <a>タグ
 - - タグ
 - - , タグ
 - - <dl>, <dt>, <dd>タグ
 - - <script>タグ

HTML

基本

- HTMLファイル内では文書の構造のみを表し、視覚表現（装飾やアニメーション）は外部ファイル化したCSS、JavaScriptで行う
- HTMLは可能な限り正しい記述を心がけ、そのために「[W3Cバリデーションツール](#)」などの検証ツールを利用し検証する（Gulpのlintタスクがあっても必ず通すこと）
- 非推奨タグは原則使わない

- 見出し、段落、リストなど適切な要素を使って文書の構造や役割を示す
- HTMLタグは必ず小文字で記述する
- 終了タグは必ず記述する
- 可能な限り、不要な要素を作らない

記述ルール

可読性、メンテナンス性確保のため、以下の通りに記述してください。

- インデント

- コードの階層が下がるたびにインデントを入れる
- インデントはタブを使用せず、半角スペース2つ分で行う（使用エディターのデフォルト設定にしておくといよい）
- CMSなどによって、動的に生成される箇所についてはこの限りではない

- コメントアウト

- 大きなブロック要素の前には要素を示すコメントの挿入を必須とする
- IDセクタ「#」CLASSセクタ「.」の記述をする
- BODY要素内のコンテンツを一時的に消す場合の使用も可とする

```
//例①
<!-- .i-header -->
//例②
<!-- #wrapper -->
```

HEAD要素内

HEAD内は以下の内容、順序を基本として記述します。

```
<head>
<meta charset="UTF-8"> // 文字エンコーディングの指定
<meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=edge"/> // IEの最新バージョンの標準モードで表示させる
<meta name="viewport" content="width=device-width,initial-scale=1.0"> // 各ブラウザのサイズにデ
<meta http-equiv="Expires" content="604800"> // キャッシュの有効期限(1週間)
<meta name="format-detection" content="telephone=no"> //電話番号リンク無効
<title>株式会社Maison Marc</title> // ページタイトル
<meta name="description" content=""> // ページ概要
<meta property="og:type" content=""> // og設定
<meta property="og:title" content=""> // og設定
<meta property="og:description" content=""> // og設定
<meta property="og:url" content=""> // og設定
<meta property="og:image" content=""> // og設定
<meta property="og:site_name" content=""> // og設定
<link rel="icon" href="/icon/favicon.ico"> // favicon設定
```

```
<link rel="stylesheet" href="/assets/style.css">
</head>
```

- 文字コード

文字コードセットはUTF-8を選択します。ファイルの文字コードをUTF-8で保存し、META要素のCONTENT属性で文字コードを宣言します。

- IEレンダリングモード

IE用に、最新のレンダリングモードにするように指定します。

- ビューポート

ページ幅可変の場合はviewportを下記のように設定しますが、状況に応じて変更してください。

```
//例
<meta name="viewport" content="width=device-width,initial-scale=1.0">
```

- キャッシュの有効期限

キャッシュの有効期限を指定することができます。「content=""」は秒数で設定します。

- 電話番号リンク

電話番号が自動でリンクになる設定を無効にします。有効にする場合はJavaScript (jQuery) で制御します。

- ページタイトル

TITLE要素は、ページの階層によって次の書式を使います。サイトに応じて変更してください。

```
//例
<title>ページタイトル | サイト名</title>
```

- ページディスクリプション

ページの概要を全角120文字程度で記述します。SEO対策の観点から各ページで異なった内容にしてください。

- OGP

Open Graph Protocolの略で、Facebookやmixi、Google+などのSNS上でWebページの内容を伝えるために定められたプロトコルです。

下記は必須プロパティなので必ず設定してください。

```
<meta property="og:type" content="">
<meta property="og:title" content="">
<meta property="og:url" content="">
<meta property="og:image" content="">
```

下記はオプションのプロパティです、必要に応じて追加してください。

```
<meta property="og:description" content="">
<meta property="og:site_name" content="">
```

OGPサイトタイプ (og:type)

通常のWEBサイトの場合、「website」、「article」のどちらかを使用します。

- website：通常のページ
- article：記事ページ
- blog：ブログのトップページ

- ファビコン

ファビコンを設定します。

- CSS

HTML5では「type="text/css"」の記述が必要ないので記述を省きます。

- 検索エンジンロボットの制御 (meta robots)

<meta name="robots">を使用すると。検索エンジンロボットの動作を制御できますが、本番化の際に削除し忘れを防ぐため、原則として使用不可とします。

CMSの機能も使用不可とする（wordpressの「インデックスさせない」チェックボックス等）

そのかわり、「robot.txt」を使用します。

BODY要素内

各種タグは、必ずタグの意味を理解した上で、使用してください。

- <main>タグ

- ページ特有のコンテンツを示すために使用する
- スタイルを当てるための枠としての使用はしない。その場合は<div>タグを使用する

- <aside>タグ

- ページ内における余談・補足情報のセクションであることを示す際に使用する
- スタイルを当てるための枠として使用はしない。その場合は<div>タグを使用する

- <section>タグ

- ページコンテンツのひとまとまりを示すために使用する
- スタイルを当てるための枠として使用はしない。その場合は<div>タグを使用する

- <article>タグ

- お知らせの記事など独立した記事を表すために使用する

- <h>タグ

- 見出しのスキップは行わない
- H1タグはそのページ内容を表すものに使用し、必ず1ページにつき1つまでとする

- <a>タグ

- 外部サイト（別ドメイン）へのリンクを貼る場合は、「target="_blank"」を使用する

- タグ

- Alt属性は必ず記述する
- レスポンス対応を考慮し、width属性、height属性の記述は省く
- 基本的にルートパスで記述する

- , タグ

- CSSが当たっていない場合の表示も考慮し、順番付きリスト（ol）と順番なしリスト（ul）を使い分ける

- <dl>, <dt>, <dd>タグ

- 白藤が好きなタグ、汎用性があって使いやすい
- <dt>タグ内はインライン要素のみ入れることができる

- <script>タグ

- 必ず<body>タグの閉じタグ直前に記述する

添付ファイル (0)



白藤 卓也によって 2020/10/26 19:15:23 に作成されました。